

2018年6月10日(日)

主 題:「神のみことばを心に刻みなさい」
—恵みのサイクルに生きる—

テキスト:申命記6章4-9節

はじめに

- ・本日、私たちの北浜チャーチは「創立20周年」を迎えることが許されました。神に、心からの讚美と感謝をおさげしたいと思います。
- ・さて、北浜チャーチが大阪のビジネス街に誕生して、早くも20年の年月が経過しました。月日の流れは、じつに早いものですね。20年前と比べると、この近辺はかなり様変わりしました。ビジネス街であった地に、今や高層マンションが建ち、居住区となってきました。都心に住む人口は次第に増加し、近隣の小学校では児童数が急増してきました。
- ・では、日本社会全体の20年間はどうかであったでしょうか。
「一言」で言って、「**便利な社会にはなったが、忙しくなった。**」と思います。皆さんはいかがでしょうか・・・。
科学、医学、建築工学などは発展し、インターネットの普及は急速に進み、AI（人工知能）も非常に進歩してきました。本当に世界が狭く感じられます。地球の裏側の出来事や事件が、1秒を切る速さで手元のスマートフォンに入る時代となりました。考えられないほどの発展ですね。
- ・しかし、便利になった反面、私たちの生活は忙しくなったのではないのでしょうか。とにかく社会の流れが急速に早まり、仕事量は増えてきました。以前は2、3日要して行った仕事、今では1日で終わるようになりました。競争社会では目標達成のため、それにノルマが求められています。
- ・そのような社会で、さらに大変なことは人間関係が難しくなってきたことです。人は自分のことを考え、自分本位になってきました。そこで当然ながら、人を素直に信じるのが難しくなりました。人を信じた結果、大損したり、訴えられたりした人がいます。それによって、心に傷を受ける人も現れました。現代、多くの人たちが、心に傷を受け、痛みをかかえています。そして心の平安を失っています。
- ・では、なぜ仕事量がこんなに増え、大変になったのでしょうか。
神が人をお造りになれた目的は、どこにあったのでしょうか・・・。そしてどこへ向かうのでしょうか・・・。
本来、人間は神によって造られました。人間は、すべてを治めるべき立場に置かれたはずでした。しかし今や、治めるべき人が、治める仕事から抜け出すことが難しくなっています。私たちは自分たちの「立ち位置」を吟味する必要があります。
- ・今日、私たちはその意味で、「北浜チャーチ創立20周年」記念礼拝を持っています。聖書は次のように、命じています。**申命記6章**
6:4 聞きなさい。イスラエル。主は私たちの神。主はただひとりである。
6:5 心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい
い
- ・ユダヤ人たちは、この命令を旧約時代、最も大切な戒めととらえていました。しかし約2000

年前、イエスも律法学者の質問「律法の中で何が一番大切ですか」に対し、申命記6章のこの聖句を引用し答えられました。

マタイ福音書 22 章

22:36 「先生。律法の中で、たいせつな戒めはどれですか。」

22:37 そこで、イエスは彼に言われた。「『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』

22:38 これがたいせつな第一の戒めです。

- すなわち聖書全巻（旧約聖書&新約聖書）は、これが一番大切であると教えています。私たちは忘れてはいないでしょうか。
- モーセを通し十戒を与えられたイスラエルで、ラビ（ユダヤ教教師）たちはモーセの律法をさらに613に細分化し、そしてそれを守るように教えました。しかし彼らは、それによってさらに忙しくなり、律法に自分たちを閉じ込める羽目になりました。（613の内、365は積極的な戒め、残りは248消極的な戒め）
- この姿こそ、私たちの姿ではないでしょうか。神に造られ、すべてを治めるべき人が、治める仕事から抜けだせない状態です。しかし聖書は、「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい」(6:5)が一番大切な事と教えています。
- では、私たちが幸せになるにはどうすれば良いでしょうか。申命記 6 章
6:3 イスラエルよ。聞いて、守り行ないなさい。そうすれば、あなたはしあわせになり、あなたの父祖の神、主があなたに告げられたように、あなたは乳と蜜の流れる国で大いにふえよう。
- 今日、私たちは次の2点から主の御声を聞いていきたいと思います。

大切なポイント

1. 神のみことばを心に刻みなさい

6:4 聞きなさい。イスラエル。主は私たちの神。主はただひとりである。

6:5 心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。

6:6 私がきょう、あなたに命じるこれらのことばを、あなたの心に刻みなさい。

- 大切なことは冒頭の言葉です。「聞きなさい。イスラエル。主は私たちの神。主はただひとりである。」(6:4)の、「聞きなさい。」(Shema:シェーマ)という言葉は、「前向きに耳を傾け、従う」という意味です。まず、聞く姿勢がなければなりません。
- そして、神のみことばを心に刻むことは大切です。心に刻むとは、どういう意味でしょうか。ローマ人への手紙 10 章には、次のように記してあります。
10:8 「みことばはあなたの近くにある。あなたの口にあり、あなたの心にある。」これは私たちの宣べ伝えている信仰のことばのことです。
- 聖書のみことばは、遠くにあるのではなく近くにある、と教えています。聖書は神のみことばですから、礼拝の心で読むことが大切です。心を静めて、天父神にお心を尋ねるように読むことが大切です。そうすれば、神が自分に対し願っておられることを知ることにも出来るのです。
- そのように神のみことばである聖書を読むと、みことばが「あなたの口にあり、あなたの心にある。」が現実味を持ってきます。目で読む聖書のことばが、口から出るようになります。それはみことばが、心に素直に受け止められるからです。
- どの親でも、子どもたちへの教育には熱心であると思います。今の時代、多くの人々が高等教育を受け、知識を与える教育はいろいろ工夫されています。しかし大切な神のことばを、教えているでしょうか。

- ・ 7 節は次のように命じています。

6:7 これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、これを唱えなさい。

人生で若い内に、早いうちに神のことばを教えることは大切なことです。それは親の責任です。

- ・ さらに申命記は次のように命じています

6:8 これをしろしとしてあなたの手に結びつけ、記章として額の上に置きなさい。

6:9 これをあなたの家の門柱と門に書きしろしなさい。

これは、テファリン、経札、メズサ等と呼ばれるものです。小箱の中には、この申命記6章のみことばが書かれ入れられています。イスラエルでは、家の門柱、あるいはホテルの各部屋の入口にあります。それをメズサと呼びます。

- ・ 聖書は、人の「立ち位置」(土台) はここにあると教えています。神のみことばを心に刻み込みなさい、なぜでしょうか？ ⇒ 心は揺れるからです。人生の土台(立ち位置) は、神のみことばにあります。それは神である主を愛することです。そのために、神のことばを心に刻み込みなさい、と教えています。
- ・ 神のみことばを心に刻む人は、幸福になると聖書は教えています。

2. 神のみことばの祝福

- ・ なぜ、みことばを心に刻む必要があるのでしょうか

1) みことばには救う力がある

- ・ 詩篇 119 篇

119:11 あなたに罪を犯さないため、私は、あなたのことばを心にたくわえました。

{例 話}

- ・ 英国の名説教家チャールズ・スポルジョン(講壇のプリンスと呼ばれ、バプテスト派の名説教家、全世界に多大な影響を与えた)は、若い頃、罪の問題で非常に悩んでいました。そんなある日、彼は一人の信徒が語る奨励を聞きました。本来、説教するはずの牧師が大雪のために道が閉ざされ、来られなくなりました。そこで、その信徒が代わりに講壇に立ち奨励しました。
- ・ ところが、その信徒は非常に痩せていて、素朴な人のように見えてましたが、発音が正確でないため聞き取りにくいスピーチでした。その上、彼は頭を上げません。下を向いたまま奨励原稿を静かに読んでいきました。とても語り手ではありませんでした。想像してみてください。
- ・ 普通、そこで考えられるのは、睡眠モードに入ることでしょう。そういう奨励を聞いたスポルジョンは、礼拝に集中できませんでした。しかし不思議なことに、すぐにみことばの中に引き込まれました。みことばがまるで火のように、彼の魂を熱く燃やしました。その日の体験について、スポルジョンは次のように書きました。
- ・ 「その時、雲が晴れてきました。暗闇がなくなり、私は太陽を見ました。私の魂を縛りつけていた鎖が断たれるのを見ました……。その礼拝堂にいた時間、私にはひとつの変化が起こりました。ただ、十字架で血を流しながら死なれたイエス・キリストに目を向けただけで、私に変化が起こりました。十字架には爆発的力があります。十字架は罪を洗い清め、たましいを再造像する工場です。十字架には人を変える力があります。十字架は神の力です。」
- ・ 1 コリント人への手紙

1:18 十字架のことばは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちに

は、神の力です。

スポルジョンともあろう名説教家が新生した始まりは、名説教家のスピーチではありませんでした。とても語り手とは思えない、一信徒の素朴な奨励を通してでした。神のみことばには、人の魂を救う力があるのです。

2) みことばには励ます力がある

・イスラエルの偉大な指導者モーセが亡くなり、民の指導はヨシュアに任されました。その時、神はヨシュアにお言葉を与え、励まされました。

ヨシュア記 1 章

- 1:5 あなたの一生の間、だれひとりとしてあなたの前に立ちはだかる者はいない。わたしは、モーセとともにいたように、あなたとともにいよう。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない。
- 1:6 強くあれ。雄々しくあれ。わたしが彼らに与えるとその先祖たちに誓った地を、あなたは、この民に継がせなければならないからだ。
- 1:7 ただ強く、雄々しくあって、わたしのしもべモーセがあなたに命じたすべての律法を守り行なえ。これを離れて右にも左にもそれてはならない。それは、あなたが行く所ではどこでも、あなたが栄えるためである。
- 1:8 この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。そのうちにしるされているすべてのことを守り行なうためである。そうすれば、あなたのすることで繁栄し、また栄えることができるからである。
- 1:9 わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。」

・イエスと弟子たちは。ガリラヤ湖上で暴風に会いました。

その時、イエスはお言葉で嵐を静められました。そしてペテロに言われました。「しっかりなさい。わたしだ。恐れることはない。」(マタイ14:27)

- ・神は旧約の時代も、今の時代も、同じようにみことばを与え、励ましを与えてくださいます。本当に感謝です。
- ・なぜ、みことばを心に刻む必要があるのでしょうか。

3) みことばには支える力がある

- ・英国人パゼット・ウイルクス (Paget Wilks) 宣教師は、かつて神戸で伝道したすばらしい宣教師でした。彼は来日した時は、英国国教会の牧師でも、宣教師でもありませんでした。一信徒として来日し、神戸に「日本伝道隊」という福音派の神学校建設に尽力されました。この「日本伝道隊」から、日本のキリスト教界に名を残した中田重治 (聖歌、讃美歌編集)、本田弘慈 (大衆伝道者) という大伝道師が生まれたのでした。

- ・ところで、パゼット・ウイルクス宣教師は人間の生まれながらの状態を次のように挙げています。人間は：

「闇を愛する者、快樂を愛する者、自分を愛する者、金銭を愛する者、人からの誉れを好む者、罪を持つ者。弱い者、不義を喜ぶ者、生まれつき不従順な者、悪い思いが出てくる者。」など、全部で 18 項目挙げました。

確かに人間は、罪の内に生まれ罪の内に生きている者です。

{例 話}

- ・ある実業家がホテルに泊まっていました。彼は当時、とても大変な状況に置かれていました。彼が何気なく窓の外を見ると、一匹のハエが外に出ようと、窓ガラスに向かい勢いよく飛んで行くのが見えました。

- そのハエは、窓ガラスにぶつかって、はね返りました。再び立ち、ガラスに向かって突進しました。またしても、ぶつかってはね返りました。その実業家の目に、玄関のドアが大きく開いているのが見えました。彼は思わず吹き出しました。「あのハエは方向を変えて、たった10秒間飛べば簡単に外に出られるのに、それもできないで死ぬことになりそうだ！」しかし、
- その瞬間、彼は愚かなハエに自分の姿が重なりました。「意地をはっていたら、あのハエのように死んでしまう！」彼は、今まで自分が歩んできた道（人生）を変えようとは思わず、ただ前に向かって突進していた自分の愚かさに気づいたのでした。
- 皆さん。自分の思い通りにしようと意地を張っていると、周りに開かれている扉が見えなくなります。人生で行きづまりを感じるなら、進行方向が間違っているのかも知れません。向きを変えること、撤回することは、決して恥ずかしいことではありません。先ず、自分の「立ち位置」が問われます。
- そうです。意地を張って破壊に向かって進む方が、恥ずかしいことです。私たちは、神が命じておられる道に進むことこそ、生きる幸いな道であることを知る必要があります。
- 皆さん。イスラエルの民が奴隷であった頃を、思い出してください。彼らが神の導きで出エジプトした時を思い出して下さい。ヨシュアの心に与えられた神のみ言葉は次でした。
 - **ヨシュア記1章**

1:9 わたしはあなたに命じたのではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。」
- **新訳聖書を開いて下さい。コロサイ人への手紙3章**

3:15 キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのためにこそあなたがたも召されて一体となったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。

3:16 キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住ませ、知恵を尽くして互いに教え、互いに戒め、詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。
- 私たちは一日で、どれほど汚れた言葉を語る者でしょうか。もし、ノートに自分が語った言葉を書くとするならば、恥ずかし限りです。しかし聖書は語ります。 **1コリント人への手紙**

1:18 十字架のことばは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちに、神の力です。
- いかがでしょうか。私たちは今日、「創立20周年記念礼拝」を迎えています。そこで私たちは今、教会として、そして自分の「立ち位置」を確認したく思います。みことばは私たちに薦めています。 **申命記6章**

6:4 聞きなさい。イスラエル。主は私たちの神。主はただひとりである。

6:5 心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい

まとめ

主 題:「神のみことばを心に刻みなさい」

—恵みのサイクルに生きる—

今日、私たちは北浜チャーチ創立20周年を迎えています。

私たちは私たち（教会、各自）の「立ち位置」を、考えさせられました。私たちの人生で、

一番大切なことは何でしょうか。

- 1 神のみことばを心に刻むこと
- 2 神のみことばの祝福
 - 1) みことばには救う力がある
 - 2) みことばには励ます力がある
 - 3) みことばには支える力がある

* God bless you !